



「第2回(仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議」の報告

平成28年10月7日、豊島区役所・としまセンタースクエアにおいて、第2回(仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議が開催されました。高野区長ほか、里中満智子座長をはじめとした委員、オブザーバーの計24名が参加しました。



1. 高野区長挨拶

第1回目の会議では、限られた時間ではありましたが、委員の皆様のお話をざっくばらんにお話しいただきました。今回は、ワークショップを行うと聞いております。テーマ毎に意見交換を行うとのことで、皆様からたくさんのアイデアをいただき、議論が深まることを期待しております。

2. 議事

(1) 説明会開催報告

事務局より、8月30日、区民ひろば富士見台で開催した「(仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備計画説明会」について、参加者の皆様からの様々なご意見や、それに対する区の考え方等について説明を行いました。

(2) 整備計画地について

事務局より、整備計画地を南長崎花咲公園とした経緯・考え方について説明を行いました。

○2020年東京オリンピック・パラリンピック開催前までに整備するため、区有地が前提となる。

○区有地の中では、トキワ荘跡地に最も近く、南長崎地域のほぼ中心にあたる南長崎花咲公園が望ましい。

これに対して、各委員からは賛成意見の他、「アクセスの良さが重要」「周辺と連携するためのマスタープランが必要」といった課題も挙げられました。

(3) ワークショップの報告

5～6人の4つのグループに分かれて、(仮称)マンガの聖地としまミュージアムでの事業展開について、下記の5つの検討テーマ毎に意見交換を行いました。ここで挙げられた意見の一部を、ご紹介します。

【検討テーマ】

- A. 収集・保存、調査・研究
- B. 展示

- C. 教育普及
- D. 情報発信・回遊促進
- E. 利用者サービス

グループ1

- A. 展示替用の一時保管庫が必要。
トキワ荘に関する資料は、実物を収集するか写真や情報で蓄積する。
- B. 展示替えが重要。四畳半でつづく体験を提供する。
- C. 子どもだけに限定しないほうが良い。発表の場として貸し出せるスペースを備える。
- D. 館を解説する冊子等を発行。外国人対応は必要。
- E. ここでしか買えないミュージアムグッズを販売する。
トキワ荘に関係するマンガを手にとりて読めるようにすべき。



グループ2

- A. 資料収集は必要だが最低限に絞り、その他の資料はどこに行けば見られるか等の情報提供を行う。
- B. トキワ荘での生活を知ってもらうため、共用部の復元も必要。当時の音楽やマンガ家が読んでいたSF等も置き、社会情勢を表現する。
- C. 若手のやる気を触発する場にすべき。
- D. 立身出世の Powerspot としてご利益グッズを開発する。
WEBサイトを維持するには運営スタッフが必要。
- E. トキワ荘通りお休み処や商店街とも連携して、サービス機能を整備すべき。



グループ3

- A. 学芸員の配置は必要。マンガプロダクションとの緊密な関係構築が重要。
- B. 数部屋を復元し、展示更新を行う。
蔵書スペースに限界があるので、情報機器の活用等も必要。
- C. マンガコンテストを全国展開。
- D. マンガ神社は面白い。区内にあるマンガ家の墓めぐりも提案したい。毎月縁日風にマンガ家の祭を開催。
- E. 商店街に喫茶店「エデン」を設置。空店舗の活用も検討。



グループ4

- A. 収蔵庫は別の敷地に設置。研究者の窓口になれる人材が必要。
- B. トキワ荘史を第一に展示する。できる限り本物に近づける。ものを創ることの社会的価値を発信する。
- C. 将来の文化の担い手育成につながるイベントを開催する。
絶版本の復刻やデジタル出版を行う。
- D. ミュージアムにつながる公園全体の整備が必要。ドラえものの公園のように土管を置く。地域を挙げた「おもてなし」を重視。
- E. 記念になるお土産、喫茶店を地域と連携し整備。

